

授業科目	在宅看護援助論Ⅰ (在宅療養を支える技術)	単位数	1 単位	講師名	看護師
		時間数	30 時間		
学年	2 学年		履修期	後期	
授業の目標	在宅療養を継続するために必要な技術を学ぶ。				
授業内容 (授業計画)	1. 在宅療養を支える看護 1) 訪問看護の特徴 2) 在宅ケアを支える訪問看護ステーション 3) 訪問看護の実践 4) 訪問看護記録 2. 在宅における援助技術 1) 食の援助 2) 清潔の援助 3) 移動の援助 4) 排泄の援助 5) 呼吸の援助 6) 感染予防のための援助 7) 体温を安全に保つ技術 8) 体位を安全に保つ技術 9) その他の医療援助と技術 10) ターミナル期の援助 3. 事例にみる在宅看護と技術 1) 被虐待が疑われる認知症高齢者 2) 最後まで在宅で過ごしたいターミナルのがん療養者				
評価方法	筆記試験				
注意事項	特記なし				
教科書	1. ナーシンググラフィカ 在宅看護論 1 地域医療を支えるケア (メディカ出版) 2. ナーシンググラフィカ 在宅看護論 2 地域医療を支えるケア (メディカ出版)				
参考図書	1. よくわかる在宅看護 (Gakken) 2. 社会保障制度 指さしガイド (いとう総研)				